

## 新・学校間相互貸借の仕組み

他校との本の貸し借りは次のような流れで行います。

この仕組みは、一般社団法人図書館事業協会(JLSA)で規格化され公正でグローバルなデータ交換方法として提唱されました。小・中学校システムTOPシェアである弊社と高等学校向け図書館ソフトウェア開発元でTOPシェアである株式会社ソフテックとともに賛同し対応しております。学校と学校、学校と公共図書館いずれでもまたMARCが異なっても相互貸借が出来る仕組みです。

### 借りる側 (例:A小学校)

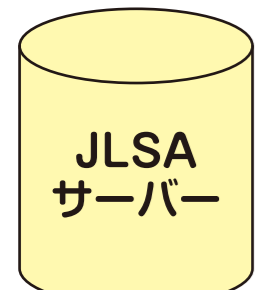
- ① 「ライブラリーサーチ」で借りたい図書を検索します。
- ② 該当する本を相手の学校に借りられるか問い合わせます。(掲示板、電話、FAXなど)

・OKならば貸出を依頼

### 貸す側 (例:B小学校)

- ① 依頼を受けた蔵書について、「情報BOX」の「相互貸出登録」でA小学校宛に貸出処理を行います。
- ② するとWeb上にあるJLSAのサーバーに貸出情報が登録されます。
- ③ 実際に本を荷造りしA小学校へ送ります。

・貸出処理完了!



アップロード

### 借りる側 (例:A小学校)

- ① 本が届いたら情報BOXを開き、相互貸出受入確認を行います。
- ② JLSAサーバーにある貸出情報を自動で探し、B小学校からの貸出データをダウンロード。
- ③ ダウンロードされた蔵書データはそのままA小学校の蔵書データに登録されますので、校内での貸出返却もOK。
- ④ 台帳も別扱いで出力可能で管理も可能です。

ダウンロード

ネットを介して蔵書情報がやりとりされますので、わずらわしさもありません。相互貸借情報も記録されますので、どのくらい相互にやりとりされているかの情報を知ることができます。

お問い合わせ先



こどもを、みらいを、考える。

株式会社 教育システム

〒453-0853 名古屋市中村区牛田通1丁目21番地 TEL:052-471-5219 / FAX:052-471-5471

<http://www.gakkou.jp> e-mail:ksinfo@gakkou.jp

制作 株式会社情報BOX

協力 一般社団法人日本図書館事業協会

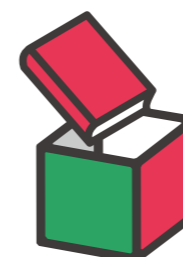


こどもを、みらいを、考える。

株式会社 教育システム

図書館電算化システム

# 情報BOX



# Library Search

## 情報BOX ライブラリーサーチ

## 活用例

